

平成29(2017)年5月17日

# 創立記念日を祝う

学校法人出水学園 出水中央高等学校

5月17日は、本校の創立記念日です。今年、創立68年目になります。

この日が創立記念日として制定されているのは、昭和26(1951)年5月17日、鹿児島県知事より認可された日です。ただし、本校の創設は、前年の昭和25(1950)年4月、倉田国弘先生によってなされました。

本校は、昭和42年4月に出水学園高等学校、そして、昭和60年4月から現在の出水中央高等学校となり現在に至っています。

特に、現在、本校に学ぶ生徒の皆さんに関係ある学科・課程の設立は、次のようになります。

普通課程	昭和42年(1967)4月	医療福祉科	昭和63年(1988)4月
教養課程	平成3年(1991)4月	看護学科(基礎課程・専門課程)	
特進課程	昭和61年(1986)4月		平成14年(2002)4月

以上の学科・課程の他、廃止になってしまった3学科を加えると卒業生・修了生は、今年の3月現在、16,576名を数えており全国各地・各界で活躍しています。

本校は、特に「すべてに結果を」合言葉に、「各科・課程の教育数値目標」や「朝自習・(0校時)課外授業、土曜日活用」、「中途退学者・転出者、問題行動をなくするために」、「魅力ある学校づくり」の実現に向けてなどを制定して取り組んでいます。

さて、創立記念日は、本校では祝日として休みにして創立を祝い、末永く記念するとともに、その時々学ぶ生徒の皆さんや勤務する職員の皆さんが、建学の精神を確認し、過去を振り返り、より一層の発展を自覚する日として位置づけています。生徒・職員はもとよりご家族をはじめ関係各位にも本校を評価していただき祝っていただく日でもあります。

本校の建学の精神は「和の精神」です。「世界の平和なくして人類の幸福はありえない」という前提のもとに人と人との和、即ち「和の精神」こそが人間を幸せにする基本的教育理念であると確信して、「和の精神」を基調にした人間教育の徹底に努めています。

また、「和の精神」を具現化するために「協調」・「規律」・「勤労」の三つの校訓を定め、入学以来、常に生徒の皆さんを導いています。

「協調」は、社会生活を行う上で、人と人との世界において大事なことです。

「規律」は、決まりを守ることは社会生活を行う上での基本です。ましてや本校の決まりを守れない人は本校で学ぶ資格はないと言えましょう。

「勤労」は、汗を流して働くことの喜びと充実感が大切です。

本校は、平成21年6月12日、創立60周年記念式典を出水市文化会館で現学園長倉田勲先生のもとで盛大に行い、過去を振り返るとともに未来に向かって着実な歩み続けることを誓いました。本校が、より一層魅力ある学校として発展し、地域の評価・中学生への評価がより一層高まる素晴らしい学校になるようお互いが努力したいものです。

5月17日、創立記念日は、本校の発展に寄与し、輝かしい伝統を築いてこられた先輩の方々に敬意と感謝を表し、現在、本校に勤め学ぶ職員・生徒をはじめ本校関係者が、伝統の重みを理解し努力することを誓う日です。創立記念日を心からお祝いしましょう。